

報道関係者と民博との懇談会 話題一覧

2019年4月18日(木)15:30~17:00 懇談会

※懇談会終了後、お時間のある方は引き続きご懇談ください。

1. 挨拶

— 吉田 憲司 (館長)—

2. ニュースリリース

●みんなくの最新情報と今後3カ月の行事をご案内いたします。

— 園田 直子 (議長)—

3. 観覧料の改定について

— 吉田 憲司 (館長)—

4. みんなく映画会「サーミの血」(第45回みんなくワールドシネマ)

本館では2009年度から、研究者による解説付きの上映会「みんなくワールドシネマ」を実施しています。11年目となった今期でも、昨年に引き続き、〈人類の未来〉をキーワードに映画上映を展開していきます。今回はスウェーデン・ノルウェー・デンマーク合作映画を上映いたします独自の言語と文化を持つサーミ人の少女が、国の分離政策によって差別的な扱いを受け、自らのルーツと葛藤しながら成長し生きる姿を通して、民族のアイデンティティについて考えたいと思います。



日時：6月16日(日)13:30~16:30(開場13:00)

会場：特別展示館

定員：350名(先着順/事前申込不要(整理券を11時から配布))

参加費：要展示観覧券(一般:580円)

— 鈴木 紀 (人類文明誌研究部 教授)—

5. 最新の研究紹介

「知のスイッチ」—「障害」からはじまるリベラルアーツ

(嶺重 慎、広瀬 浩二郎、村田 淳 著/岩波書店)

— 広瀬 浩二郎 (グローバル現象研究部 准教授)—

「子どもたちの文化史」―玩具にみる日本の近代

(是澤 博昭、日高 信吾 著／臨川書店)

― 日高 真吾 (人類基礎理論研究部 教授)―

「殴り合いの文化史」

(樫永 真佐夫 著／左右社)

― 樫永 真佐夫 (超域フィールド科学研究部 教授)―

6. 新任紹介

筑波大学大学院で博士号を取得後、日本学術振興会特別研究員 PD、ポルドー政治学院客員研究員として研究に従事。専門は文化人類学。北海道大学メディア・コミュニケーション研究院を経て現職。中国雲南省の回族を事例として、現代における宗教のあり方、マイノリティの自律性などについて研究。



― 奈良 雅史 (超域フィールド科学研究部 准教授)―

上智大学大学院で博士号を取得後、総合地球環境学研究所、オーストラリア国立大学で研究に従事。その後、東海大学海洋学部を経て現職。専門は、東南アジアやオセアニアの海域世界における人類の移住史や海洋・島嶼適応に関する研究。



― 小野 林太郎 (人類文明誌研究部 准教授)―

お問い合わせ

国立民族学博物館 総務課 広報係

電話:06-6878-8560(直通) Fax:06-6875-0401 Mail:koho@minpaku.ac.jp



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology